

各 位

2020年12月8日  
SBIホールディングス株式会社

日本国内の金融事業者で初となる  
米国 DataRobot, Inc.との戦略的資本業務提携に関するお知らせ

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：北尾 吉孝、以下「当社」）はこのたび、DataRobot, Inc.（本社：マサチューセッツ州ボストン、CEO：ジェレミー・アシン、以下「DataRobot社」）との間で、戦略的資本業務提携を行うこととなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本提携の目的

DataRobot社は、AIが持つ変革の力を誰もが簡単に手に入れ、企業がデータを迅速に価値へ変換できる世界を目指し、高度なAIモデルの構築から運用管理までのプロセス全体を自動化するエンタープライズAIプラットフォーム「DataRobot」と、AIネイティブな戦略的サクセスチームによる、全社的なAIドリブン（※1）組織を構築するための支援プログラム「AIサクセスプログラム」を提供しています。

当社グループでは、2012年8月にグループ横断的なプロジェクトとして、当社内に「ビッグデータ室（現社長室ビッグデータ担当）」を設置し、グループビッグデータと外部データを組み合わせた「Biggerデータ」を用いたAIプロジェクトの企画・開発を推進してまいりました。また既に、2017年に「DataRobot」を導入しており、これまでに数十の高度なAIアプリケーションを開発し、様々な領域で成果を上げています。

今回の戦略的資本業務提携では、DataRobot社は当社グループにおける全社的なAIドリブン化の実現を支援するとともに、当社グループが資本業務提携する地方銀行におけるAI利活用とAIリテラシー向上を支援してまいります。

※1 所謂ビッグデータと称される様な集積データを、AIを利活用して学習・分析させた結果に基づいて、様々な判断・行動を起こすこと

## 2. 業務提携の内容

当社と DataRobot 社は、以下の項目について合意いたしました。

- (1) 当社グループにおけるデジタルトランスフォーメーションの中核に、グループ全社の AI ドリブン化を位置づけ、これを達成するために DataRobot 社は、同社のグローバルな AI サクセス経験をもとに当社を支援する。
- (2) DataRobot 社は、当社グループが資本業務提携する地方銀行の収益力強化とそれに伴う企業価値向上の実現を目指し、AI 人材の育成や事業における AI の導入・利活用を支援する。
- (3) 当社の子会社が、DataRobot 社の販売パートナーとして同社の商品・サービスの日本国内での販売を支援する。

## 3. 出資の内容

当社および当社子会社の SBI インベストメント株式会社が運営する「SBI 4+5 ファンド」(※2) から DataRobot 社へ出資いたします。

### ※2 SBI 4+5 ファンドについて

本ファンドは、FinTech、AI、ブロックチェーン（分散型台帳）に加え、従来のインターネット化・オートメーション化等の「Industry3.0（第三次産業革命）」に対し、自律化・相互協調を実現していく「Industry4.0（第四次産業革命）」を推進する IoT・ロボティクスや 5G（第 5 世代移動通信システム）、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立し、人間中心の社会「Society5.0」を実現するヘルスケア（医療・介護）、インフラ（交通・エネルギー）、食品・農業等に投資を行います。出資約束手総額の上限は 1000 億円（マザーファンドの上限額）を予定しています。

## 4. DataRobot 社の概要

商号	DataRobot, Inc.
所在地	マサチューセッツ州ボストン
代表者	CEO Jeremy Achin
設立年	2012 年
主な事業内容	エンタープライズ AI プラットフォームの提供
URL	<a href="https://www.datarobot.com/jp/">https://www.datarobot.com/jp/</a>

以上



\*\*\*\*\*

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126